



特別祈禱

不二の祈り

一年の瀬を控えて、何かと心せわしい毎日ですが、皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。今年も、世界中で想定外といわれるほどの、大きな自然災害が起こっています。日本においても年々大災害が人々の生活を脅かしています。産業革命以後、科学万能主義や自先の便利だけを追い求めて、自分勝手に生きてきた人間に対して、地球が怒っているのかもしれない。千二百年前、伝教大師様は比叡山にて「共生」という言葉を御教授されました。地球が在り、自然が在っての人間社会です。このままでは地球温暖化が益々進んで、さらに大きな災害に見舞われることになるかもしれません。無事平穩に暮らせることが奇跡となる日が来るかもしれません。造像七百年記念事業の観音堂の建設が始まります。多くの皆様の御浄財のおかげです。心より感謝申し上げます。後世、子孫の自慢となるお堂が完成することを祈っております。これからも更なる寺門の興隆を願い、努力を重ねて行きますので、ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

10月3日、鈴原不動尊御宝前に於いて、今年で6回目の世界文化遺産登録記念「不二の祈り」を上原行照大阿闍梨師ご導師のもと厳修致しました。当日は秋晴れに恵まれ、たくさんの参詣者にご来山していただきました。今年のご法話は、「仏様へお願いをすることはとても尊いことであるが、それは先祖供養があつての願いでなければならない」というお話でした。いくらどんなに篤いお願いをしても先祖供養をしていなければ、仏様への願いは届きづらいことで、逆に日々先祖を大切にすれば、願いはより届きやすいという内容でした。一番身近な仏様のご先祖様を日々想いながら、お護摩の火を受けていただければ、より一層のご利益があると信じております。是非、来年もご参列をいただければと思います。

尚、双方の都合により

来年からの「不二の祈り」は4月の第3日曜日へ、変更させていただきます。令和2年は4月19日（日）です。桜の咲く春の訪れを感じる時期に多くの方々のご参拝をお待ちしております。

～お知らせ～

東円寺法嗣 慈法 副住職 拝命

令和元年11月20日、法嗣慈法が、東円寺の副住職を拝命いたしました。客殿の居室に森川宏映天台座主猊下よりの書状が掲げられておりますので、ご覧ください。これからも、数々の経験を積んで行きますので、副住職に対して温かなご支援をお願い申し上げます。

東円寺初不動交通安全祈願祭

1月28日 午後2時より

東円寺の初不動大祭は、近年は交通安全祈願を主として行っています。忍野村におきましては、交通死亡事故ゼロが今年 8000 日を突破し、山梨県知事から表彰されています。現在も更新中です。別紙にて、祈祷申込用紙をご用意させていただきました。又、合格祈願等も受け付けております。ご不明な点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。



◆のぼり幡奉納寄付◆※当日受付可

随時受け付けております。 1枚3千円

※祈願申込みは、当日混雑が予想されますので1月20日までにお願ひ致します。

お不動様

今回は「不動明王」についてお話させていただきます。不動明王は主に厄除けの仏様として、「お不動さま」や「不動尊」と称され親しまれています。特徴としては、両手には剣と鎖を持ち、炎に包まれたとても怖い顔をされたお姿です。又、お不動さまの両脇には水戸黄門の助さん角さんの如く、蓮の花を持つ優しそうな矜羯羅童子(こんがらどうじ)、こん棒を持ち強面のやんちゃ小僧な制多迦童子(せいたかどうじ)がおられる場合があります。

では、なぜ仏様なのに怖い顔なのかというと、怖い顔は、悩める人たちをどうしたら救えるか悩んでいる姿で、智剣(ちけん)といわれる剣で煩惱を裁ち、羅索(けんさく)の鎖で悩める人を救うとされます。矜羯羅童子と制多迦童子は「従順な心で仏教の教えに帰依する姿」を表現していると云われています。

このように、仏様のお姿や持っている物にはそれぞれ意味があり、その違いを見るのも仏教の楽しみのひとつではないでしょうか。お不動様の背中を取り巻く炎のなかに、迦楼羅(かるら)という鳥が飛んでいます。お参りの際には是非探してみてください。

慈法 記

～大晦日には、除夜の鐘を撞きましょう～

毎年12月31日の夜中より元旦にかけて、除夜の鐘を撞いています。除夜の鐘は一年の終わりであると同時に、新しい年の始まりでもあります。行く年来る年の要に響き渡る鐘の音と共に、新年に向けての新たな決意を呼び起こしてくれます。是非、東円寺の除夜の鐘を撞きに來てください。温かい汁物や甘酒などをご用意してお待ちしています。



お願い
泥酔状態での
鐘撞きはとて
も危険なので
やめましょう。

☆令和元年7月～11月までの

観音堂寄付者一覧は別紙となっております。そちらを御覧ください。

～諏訪明神大祭～

近代化がされる以前、秋に収穫された穀物を始めとする様々な食料は、冬を越すための貴重なものでした。目に見えないものから、多くの実りを頂戴したことへの感謝を体系化したものがお祭りです。時には、凶作や災害によって食料難となり、大飢饉が起きました。凶作や災害によって多くの命が奪われ、その度に先人たちは様々な工夫をしました。ビニールハウスで育てられた野菜は、四季と関係なく一年中私たちの食卓に届くようになりました。水害の対策は、ダム建設等々、様々な知恵が生かされ便利な生活を送れるようになりました。けれども、昨今は想定外の災害に見舞われています。一年の行事の一環として行われている秋祭りですが、報道される台風や大雨などの被害を見ますと、被害なく秋祭りが執り行われることは、氏神様、仏様、ご先祖様のお蔭であると心から感謝しています。現在の豊かな生活は先人達の知恵のお蔭ですし、その実りは自然界からいただいている恩恵です。目に見えない自然を慮り、感謝の心で秋祭りを執り行いたいと考えます。

～お会式ご報告～



役員さん、奥様方、夜遅くまでお手伝い
ありがとうございました



東園寺では昔から「お会式『おえしき』」と呼ばれる行事を行っております。正式には「両大師会」といいますが、「両大師会」の「会」が使われて「お会式」の呼び名となったようです。「両大師会」は、中国の天台山で教えを説かれた「天台大師智顛」様と、日本天台宗の祖「伝教大師最澄」様の功徳を称える儀式です。東園寺の行事では、必ず開式直前に御詠歌をお唱えしています。行事によってお唱えしている御詠歌が違っていることにお気付きの方はいらっしやると思います。特に、お会式では「天台大師讃仰和讃」と「伝教大師讃仰和讃」をお唱えしています。お会式だけお唱えする和讃です。天台大師様と伝教大師さまの功績が歌詞に込められています。先日、ローマ法王が来日されました。教えは多少違っていても、カトリック教会の総本山の最高責任者である法王も、天台大師様も伝教大師様も、人類の幸福を祈られました。両大師様がご活躍の時代、核兵器などありませんでした。しかし、もし両大師様のご健在だったら・・・何をお考えになられるのでしょうか。令和初めのお会式に、多くのお檀家さんが参列してくださいました。両大師の功績を称えるとともに、各家のご先祖様をご供養させていただき、ご本尊阿弥陀三尊の描かれた江戸時代の版木を復刻しましたお札が供養の証としてお配りされています。一昨年、昨年、今年と台風の被害に遭われた寺院も少なくありません。そのようなことを想像しますと、何事もなく例年通りお会式を執り行えたことはあり難いことです。皆様のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

～寺庭のつばやき～

檀信徒の皆様には、平素より東円寺に対しまして温かなご支援ありがとうございます。地球温暖化の影響によると言われる異常気象によって、今年も日本中が災害に見舞われました。尊い命が奪われ、生活基盤が脅かされています。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。報道によりますと、地球の約20%の酸素は、ブラジルにあるアマゾンの熱帯雨林から排出されていると言います。しかし、アマゾンは、大規模な破壊や火災が頻発したことからボルソナロ大統領は国際非難を浴びました。近代化を進めるブラジルのボルソナロ大統領は、「アマゾンはブラジルのものであり、アマゾンが人類の財産だというのは詭弁（きべん）だ。われわれの森林が『(酸素を生み出す)地球の肺』というのも誤りだ。」と保護圧力が高まっていることについて、現地で暮らす先住民や住民には豊かに暮らす権利があると訴えています。この記事を読んだときに衝撃を覚えました。近代的に暮らす先進国がある一方で、人類のために不自由な暮らしを強要することは人類のためなののでしょうか。けれども、温暖化の影響は深刻さが増し、生活基盤が揺るがされている現実があります。伝教大師様の「忘己利他」「共生」のお言葉が脳裏をかすめます。ボルソナロ大統領の主張は一理あります。けれども、「己を忘れて他を利する」ことができれば・・・地球は人間だけのものではなく、動植物がいてそれらすべてが「共生」して自然の均衡が保たれていることを想像することができれば・・・先進国で暮らす人々は、アマゾンで暮らす人々に不自由な暮らしを強いるのではなく「己を忘れて他を利する」こと・・・それは私たちが少しでも不自由な生活を選ぶこと・・・また、「共生」という意識を持ち行動するだけで何かが変わってくるのではないかと思うのです。伝教大師様は、1200年以上前に人としてのあるべき姿を「忘己利他」「共生」という端的な言葉で諭されました。令和という新時代を迎え、平和で穏やかな生活が送れるよう、伝教大師様の言葉を胸に刻み、ご本尊を始めとする多くの仏様に、日々祈りを捧げたいと思います。

～仏参金納入口座のお知らせ～

郵便口座

記号10800 番号6654231

口座名 トウエンジ 又は 東円寺

※キャッシュカードでの振り込みですと、
手数料が掛かりません。

山梨中央銀行

忍野支店 口座 普通

121086 東円寺

◎ご家族の名前で振り込んだ場合、家の確認ができないことがありますので、必ず戸主がわかるようにしてください。

～次回団参予定～

令和2年6月2日(火)～4日(木)

比叡山先祖供養団参「昼神温泉・恵那峡」方面

詳しくは東円寺便り「春彼岸号」にて

お知らせいたします。お楽しみに！！

一隅会会員募集

天台宗には宗祖伝教大師の御教えを
実践する一つの組織として、天台宗
一隅会(一隅を照らす運動)がありま
す。賛同して下さる会員を募集し
ています。

☆ご詠歌に参加しませんか☆

3月～12月

第2・第4月曜日午後2時～3時

※行事によって変更有り。

「かわら版」をご覧ください

行事の様子や会計報告などをさ
せていただいています。本堂や
客殿、本堂脇の掲示板などに掲
示しています。

